

9月1日は「防災の日」

(毎年8月30日～9月5日は防災週間)



今年、6月に大阪府北部を震源とする地震が起き、7月には豪雨による大きな被害が発生しています。防災週間を機会に「福島区ぼうさいあんぜんマップ」「水害ハザードマップ」で、区内の被害想定を確認し、家族や職場の仲間で災害に対する備えについて考えてみましょう(マップは区役所で配布、ホームページでもご覧いただけます)。区役所では、地域住民の皆さまとともに、さまざまな防災への取り組みを行っていますので、いくつかご紹介します。

1 地域防災リーダー

災害発生時の初期消火活動や救助活動を地域単位で行えるように各地域で組織され、技術向上のために訓練を行っています。



2 避難所開設運営訓練

避難所となる小学校などで、大規模災害が発生した想定で地域の自主防災組織が主体となって訓練を行っています。



3 地域防災計画の作成

「自助」「共助」の心構えで災害へ備えるため、地域の方とともに計画の作成を進めています。



4 水防団

津波や高潮などの水害に備え、鉄扉閉鎖訓練や水防訓練など区内で95名の団員が活動しています。



5 小中学生防災授業

これからの地域防災を担っていく児童・生徒を対象に防災への関心を高めてもらうために防災授業を行っています。



6 防災イベント

区民の皆さまにより防災を身近に感じてもらうため、福島消防署と区役所合同で開催しています。(平成31年3月開催予定/区ホームページ等でお知らせします)



7 ぼうさいママワークショップ

子育て中のママを対象に、防災への関心を高めてもらうため開催しています。(平成31年2月頃開催予定/区ホームページ等でお知らせします)



8 防災出前講座

区役所職員が地域の集会所などに出向いて、災害への備えなどについてわかりやすく説明します。(詳しくはホームページをご覧ください。)



☎ 区 市民協働課 5F・市民協働 ☎ 6464-9734 ☎ 6464-9987

区内中学生が被災地を訪問しました

7月24日(火)から2泊3日で福島区の中学生9人が東日本大震災の被災地(宮城県)を訪問しました。

「震災に遭遇したら、自分には何ができるのか。」という問題意識を持ち、今後のまちづくり等に生かしてもらうため、様々な被災地を訪れ、被災者の方からお話を伺いました。現地で見、聞き、話すことで知識を広め、考えを深める貴重な体験ができました。

また、11月17日(土)に「福島区人権を考える区民のつどい」と共同開催で、中学生による事業報告会を予定しておりますのでぜひご来場ください。



中学生の感想(アンケート抜粋)

2泊3日でたくさんの事を学ばせていただき、なかには悲しく涙が出るような話もありましたが、これらを大阪の人に伝えられたらなあと思います。

被災をされた方々が予想以上に明るく前向きに生きていらっしゃるって驚きましたが、そのポジティブな精神に感動しました。

当事業について、来年度以降の財源とするため、ご寄附をお願いしております。詳しくはお問い合わせいただくか、区役所ホームページをご覧ください。



松島湾震災学習クルーズ



津波避難タワー(仙台市)



石巻市日和山公園



震災遺構仙台市立荒浜小学校



荒浜祈りの塔(仙台市)



東北大学災害科学国際研究所



☎ 区 企画総務課 4F・企画調整 ☎ 6464-9925 ☎ 6462-0792